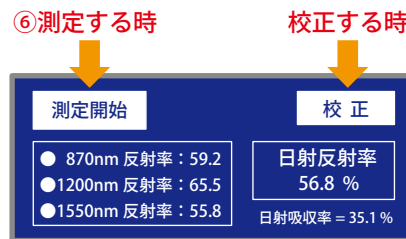


遮熱特性測定器 TP-01

使用方法

通常測定方法

- ① 測定器本体を LCD 画面が見やすい角度に調節する
左右のハンドル元のボタンを押してカチッというところで角度を決める
- ② 電源ケーブルを接続する
背面パネルに電源ケーブルを挿し、AC100Vの電源コンセントに挿す
- ③ 光学プローブを接続する
プローブのケーブルコネクタを溝を合わせ正面パネルに真っ直ぐに挿す外すときはコネクタのリングを左に回しながら外す
- ④ 正面パネルの電源スイッチを入れる
- ⑤ 光学プローブを測定対象物にセットする
- ⑥ LCD 画面左上の「測定開始」ボタンを押す
「各波長の反射率」および「日射反射率と日射吸収率」が表示されます
- ⑦ 測定対象物が複数の場合、操作5から6を繰り返す
- ⑧ 測定終了後電源スイッチを切る
- ⑨ しまう時は光学プローブおよび電源ケーブルを外す



LCD 通常画面表示

校正方法

電源を入れるまでは上記と同じ

- ① LCD 画面右上の「校正」ボタンを押す
「校正」画面になったことを確認する

校正		戻る		
	[870nm]	[1200nm]	[1550nm]	
"0" 測定	869	480	383	
"100" 測定	3977	2997	2190	

LCD 校正画面表示

1. 「0 基準板」に光学プローブをセットする
2. LCD 画面左の「"0" 測定」ボタンを押す
新たな測定値が入力されたことを確認する
3. 「100 基準板」の白丸中央に光学プローブをセットする
4. LCD 画面左の「"100" 測定」ボタンを押す
新たな測定値が入力されたことを確認する
- ② LCD 画面右上の「戻る」ボタンを押す
通常の「測定開始」画面に切り替われば校正作業は終了です



0 基準板



トランクケース付き

梱包内容

測定器本体

0 基準板

100 基準板

光学プローブ 電源ケーブル

仕様

光源	赤外発光ダイオード
ピーク発光波長	870nm、1200nm、1550nm
受光器	InGaAs フォトダイオード
測定範囲	反射率：0～100%
精度定格	フルスケールの±1%
測定時間	約10sec
電源	100V AC 50/60Hz
寸法 (mm)	本体 250(W)×100(H)×200(D) プローブφ50×95
重量	2.4kg

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。